

(様式1)

自己評価表(令和2年度)

愛媛県立宇和島水産高等学校
学校番号(41)

<p>教育方針</p>	<p>人格の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者としての普遍的な資質を養うとともに、我が国の水産業界・海洋関連業界を歩進発展させるために必要な専門的な知識と技術を習得させ、職業人として国家社会に貢献する有為な技術者を育成する。</p>	<p>重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 我が国水産業・海洋関連産業の産業的使命を自覚させ、国際感覚を持った職業人としての資質(能力・気力・体力)と実践力を育成する。 職業人として必要な自律・協同及び勤労の精神を培うとともに、時代に適応した知識・技能を身に付けたスペシャリストを育成する。 実践体験を通して学習意欲を喚起し、問題解決能力や創造性の育成に努め、自主的に研究する態度を養う。 一人一人の個性に応じた指導を心掛けるとともに、豊かな人間性の育成に努める。 地域社会との連携を深め、水産・海洋教育の振興に努める。
-------------	--	-------------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	学習の習慣化	1日2時間以上の家庭学習を目指す。 A: 2時間以上 B: 1時間30分~1時間59分 C: 1時間~1時間29分 D: 30分~59分 E: 29分以下	B	調査中のみ、平均して2時間以上の家庭学習ができた。	平日、休日も含めて目標が達成できるよう、指導を継続していきたい。
	基礎学力の充実	校内漢字テスト・英単語テスト・計算力テストにおける80点以上の生徒の割合40%以上を目指す。 A: 各7回以上 B: 各6回以上 C: 各5回以上 D: 各4回以上 E: 各3回以上かそれ以下	C	漢字8回、英単語6回、計算力5回達成	漢字は目標を達成できたが、英単語と計算力は達成できなかった。来年度はさらに成績が向上するように指導していきたい。
	言語活動の充実	1時間の授業で、10人以上の生徒に発問するなど、言語活動の充実に努める。 A: 10人以上 B: 8~9名 C: 6~7名 D: 4~5名 E: 3名以下	B	評価3、4が8名(80%)、2が7名(20%)	授業によっては発問することが難しいこともあるが、生徒が積極的に授業に取り組むことができるよう努力していきたい。
	思考力・表現力の育成	年間3冊以上の本を読む生徒100%を目指す。 A: 100% B: 90%以上~100%未満 C: 80%以上~90%未満 D: 70%以上~80%未満 E: 70%未満	D	年間3冊以上の生徒は70%程度。朝読書の廃止、コロナ禍の影響が原因と思われる。	国語科の授業で読書にかかわる取組みを工夫する。短歌、俳句等表現活動も充実させたい。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	1か年皆勤者、各学年60%以上を目指す。 A: 60%以上 B: 55%以上~60%未満 C: 50%以上~55%未満 D: 45%以上~50%未満 E: 45%未満	A	1学年59% 2学年56% 3学年72% 全体平均62%	しっかりと向き合った関係作りを継続していく。
		身だしなみ指導での再指導者数、各学年4名以下を目指す。 A: 4名以下 B: 5~6名 C: 7~8名 D: 8~9名 E: 10名以上	A	1学年1~3名 2学年3~4名 3学年1~4名 全体平均4名以下	説諭をしっかり行い、維持すべく努力する。
	豊かな心・健やかな体の育成	特別活動や個人面接等を通して、気力・体力・人権意識を養い、学校生活の充実度100%を目指す。 A: 100% B: 90%以上~100%未満 C: 80%以上~90%未満 D: 70%以上~80%未満 E: 70%未満	B	部活動加入率は全体で95% コロナ禍の状況で出来る活動を実施している。	継続、退部しないための指導の徹底を図る。
	奉仕精神の育成	ボランティア活動をする生徒90%を目指す。 A: 90%以上 B: 80%以上~90%未満 C: 70%以上~80%未満 D: 60%以上~70%未満 E: 60%未満	-	コロナ禍のため、ボランティア活動不参加	新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	安全教育の徹底	交通マナーを徹底し、登下校、休日の事故件数ゼロを目指す。ヘルメット着用100% A: 事故0(着用100%) B: 事故3以下(着用95%以上) C: 事故5以下(着用90%以上) D: 事故7以下(着用85%以上) E: 事故8以上(着用85%未満)	B	事故2件 ヘルメット着用率は大変良好	安全意識向上のための指導を継続する。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進学指導の充実	第1志望校合格100%を目指す。 A: 100% B: 95%以上～100%未満 C: 90%以上～95%未満 D: 85%以上～90%未満 E: 85%未満	C	専攻科8名、専門学校5名希望 看護専門学校1名不合格	小論文、面接指導の開始時期を早める。
		水産・海洋系分野(大学、専攻科)への進学希望者15名以上の合格を目指す。 A: 15名以上 B: 11～13名 C: 8～10名 D: 5～7名 E: 4名以下	C	大学進学希望者なし 専攻科8名	進路相談を充実させ、上級学校への進学に関心を持たせる。
	就職指導の充実	就職希望者の就職率100%を目指す。 A: 100% B: 95%以上～100%未満 C: 90%以上～95%未満 D: 85%以上～90%未満 E: 85%未満	B	学校紹介100%決定 縁故1名未決定	面接指導の開始時期を早めるとともに、多くの教員との面接練習機会を増やす。
		就職希望者の水産・海洋系分野への就職率70%以上を目指す。 A: 70%以上 B: 65%以上～70%未満 C: 60%以上～65%未満 D: 55%以上～60%未満 E: 55%未満	D	22名/40名(55%)	応募前見学を勧め、地元中心に学科の特性を生かせる事業所への関心を高めさせる。
資格等取得者の増加	資格試験等に積極的に取り組み、卒業時に一人1資格以上の取得を目指す。 A: 100% B: 90%以上～100%未満 C: 80%以上～90%未満 D: 70%以上～80%未満 E: 70%未満	-	新型コロナウイルス感染症の影響で、溶接やフォークリフト等の講習、検定の多くが実施できなかった。	1年次から積極的に資格取得に取り組むことを啓発する。	
業務改善	時間外労働の削減	業務の効率化を図り、時間の有効活用を図るとともに、有給休暇の取得促進に努める。	C	多くの職員が有給休暇を取得することができた。	業務改善の効率化と更なる有給休暇の取得促進に努める。
	職場環境の整備	衛生委員会の活用及びメンタルヘルスの充実に努め、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。	C	衛生委員会を活用し、校内の環境整備等の充実に努めた。	健康管理医との連携を図り、より一層の教職員のメンタルヘルスキアの向上に努める。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。